

本の街「神保町」を支えてきた印刷業 オンデマンド印刷など最先端の技術で 顧客のニーズに対応

三立工芸

三立工芸(千代田区三崎町、萩野正和社長、03・3261・5171)は、昭和35年の創業以来、近隣の本の街「神保町」を支えてきた印刷業界の一社である。当初より、大学からの学習書の受注や大手メーカーのマニュアル制作などを主な仕事としており、きめ細やかな仕事ぶりには定評がある。

近年の電子書籍普及やペーパーレス化などの時代の流れにより多様化した出版関連業界に合わせ、印刷業界でもさまざまな新技術が生まれている。必要なものを、必要な時に、必要な数だけ印刷するシステムであるオンデマンド印刷。フィルム製版、CTP刷版といったオフセット印刷に必要なだった工程を省略でき、同社ではデジタルデータを直接出力するデジタル印刷機を使用している。そのため、10部、50部といった小ロットの印刷物でも、速く・低価格で提供することができ。オフセット印刷と比較すると若干品質が劣ることもあるが、同社の最新鋭オンデマンド印刷なら十分な品質が得られる。



同社の社員たち

また、電子カタログ、電子パンフレット、電子書籍の制作も手がけている。電子ブックは新しいメディアプラットフォームとして注目を集め、コンバージョンも通常のバナー広告に比べて効果を発揮するケースが格段に多いと言われている。それらの特長を利用したメディアサイトやデジタルコンテンツの販売サイトなどの企画立案も行っている。



さまざまな顧客ニーズに対応できる
プリントオンデマンド機器

見積もりやご相談など、詳しくはお電話または
同社ホームページ
(<http://sanritsu-net.co.jp>)へ。永年の経験で培った同社のノウハウや技術を活用して、お客様の満足度を第一にしっかりとサポートさせていただきます。